次世代経営者・管理者に贈る

今日のひとこと集 2

（人生編・経営編）

㈱アクセス
安武　史朗

次世代経営者・管理者に贈る

今日のひとこと集 2

（人生編・経営編）

㈱アクセス　安武　史朗

我が人生のみちしるべ

(The Guidepost of My Life)

「ちょっとためになる面白い話」

人は、この世に生を受けた瞬間、さまざまな苦しみや悩みが始まる。
そしてその苦しみや悩みから一生逃れることはできない。
このメモは、そのようなこの世を生きていくための心の支えや一服の清涼剤として、またこころを磨き、自分を鍛えるための自己啓発資料として平成元年頃から折に触れ心に残った言葉を書き留めたものの集大成であり、今も追加中です。
自分自身これらの言葉に随分勇気つけられ、また自己啓発に役立ったと思っています。

●私の座右の銘は「人間万事塞翁が馬」です。

これは、「淮南子（えなんじ）」に出てくるもので、「人間（じんかん）」と読み「人の世」

という意味、人生は吉と凶、禍と福、幸と不幸が入れ替わり訪れるので、何が禍い何が幸せになるか分からない、従って現在の環境だけを見て喜び、また嘆き悲しんだり、目先の幸不幸に一喜一憂してはならないという意味です。

●モットーは「リズム・バランス&タイミング」です。

世の中には流れ（リズム）があり、その流れの中で、調和（バランス）と好機（タイミング）を読み取ることが肝要である。

●好きな字は「無」と「和」であり、墓石にも刻みました。

また、好きな言葉では「**謙虚**」や「**哀愁**」などで日ごろよく使います。

今日のひとこと（201）「過ち」

過ちて改めざる、これを過ちという。（論語より）

（未熟を改めない、これを未熟という）

今日のひとこと（202）「伝え残す」

「知りたることを人に教えざるは、借りた金を返さざるが如し」

先輩や社会から受けた指導、体験、知恵を後世に伝え残すことは社会的義務である。

今日のひとこと（203）「七つの大罪」

マハトマ・ガンジー

「七つの大罪」

1. 哲学なき政治
2. 労働なき富
3. 倫理なき快楽
4. 人格なき教育
5. 道徳なき経済
6. 人間性なき科学
7. 献身なき宗教

今日のひとこと（204）「企業は公器なり」

（松下幸之助）

「企業は公器なり」

企業とは天下の人・土地・お金・資源を預かって経営をすることである、それゆえに企業

経営は私事ではない、私企業といえども公器であり、そういう信念にたたねばならない。

今日のひとこと（205）「盗みぐせ」

人生においてもビジネス社会でもすべて他人の物まねが基本である。
盗みぐせの習慣をつけろ。
優れた人柄、出来ない技術を盗み取り、他人のものを最後には自分のものにする。

今日のひとこと（207）「成功した経営者の特徴」

根が明るい
肝（きも）がすわっている
コミュニケーション能力がある
哲学・志を持っている

今日のひとこと（208）「笑わせる」

人を怒らせるのは簡単、泣かせるのもそれほど難しくない、一番難しいのは人を笑わせること。

（三遊亭圓楽）

今日のひとこと（209）「好況よし、不況さらによし」

好況のときは他に目が移らない、駆け足をしているようなもので欠点が目に付かない。

一方、不況のときはゆっくり歩いているようなもので前後左右に目が移り欠点が見える。

不況のときこそ欠点を直す好機であり、差が出る。

今日のひとこと（210）「耳の痛い話」

耳の痛い話は神のお告げ

誰でも自分に都合の悪いいやな話は聞きたくない、でもそれは神のお告げと思い、聴く耳を持つ努力をする事

今日のひとこと（211）「経理」

経理とは経営管理の要約であり、過去の小さい数字の分析だけに終始してはならない。財務・経理の数字は車のバックミラーみたいなものである、過去を分析してあくまでも前方を見ていなければならない。

今日のひとこと（212）「悩まれるだけ幸せ」

溺れているときに悩みますか？　わらをも掴む気持ちで陸に向かって無我夢中で泳ぐでしょう？死にそうなときに悩んでいる暇はないはず。悩んでいるうちは本当の危機ではない。

また、喧嘩の最中に悩むか？　というのもある。

（綾戸智恵）

今日のひとこと（213）「教えと実行」

美しく咲く花でも香りのない花があるように、よく説かれた教えを聞いても実行しない人には実りがない。

（法句経）

今日のひとこと（214）「恥ずかしい忙しさ」

「忙しい、暇が無い」とは良く聞くが、忙しさにも「恥ずかしい忙しさ」があることを知れ。

今日のひとこと（215）「富士の山」

「来てみればさほどでもなし富士の山、釈迦も孔子もかくやあるらむ」

長州の侍が日本一の富士山に登ったときの歌。

偉人といわれる人や世間で騒がれるものも近くで見るとたいしたことは無いだろう。

「側近に英雄なし」という言葉もある、どんな英雄も日常を知る側近にとってはただの人という意味。

今日のひとこと（216）「間違った正論」

正論は常に正しいのか？

一見正しいと思われる正論を押し通すことにより、今までの人間関係のバランスが崩れるならばその正論は間違いである。

今日のひとこと（217）「アイデア」

アイデアは洗練されてはならない、泥臭ければ泥臭いほど成功する。

（マツモトキヨシ社長：松本和那）

ハイセンスで知的なアイデアが成功するとは限らない、むしろ泥臭いアイデアが受ける。

グリコのおまけが良い例である。

今日のひとこと（218）「融通」

リーダー、経営者がやるべきことは、人、物、金を融通する、やり繰りをすることである。

融通の利く人がリーダー、経営者に向いている。

融通とは「その場その場で臨機応変に適切な処置をとること」

今日のひとこと（219）「やりたいこと」

「やりたいこと」をやるためには「やりたくないこと」は避けられない。

裏を返せば、やりたくないことをやらなければやりたいことはできない。

今日のひとこと（220）「エゴと愛」

他人を自分に合わせようとするのがエゴ、自分を変え相手に与えようとするのが愛。

今日のひとこと（221）「昼寝」

「風車、風が吹くまで昼寝かな」

（広田弘毅　32代内閣総理大臣）

長い人生には追い風もあれば逆風もある、また無風もある。
自分の出番ではないときに無理してあせってもうまくはいかない。
風が吹くまで、お呼びが掛かるまでじっと待つ、昼寝でもして・・・
奥深い句である。

今日のひとこと（222）「無欲」

命も要らず名も要らず、官位も金も要らない人は始末に困る。
この始末に困る人でなければ艱難を共にして国家の大業は成せず。

（西郷隆盛）

今日のひとこと（223）「犯人は誰だ」

きれい事ばかりを並べている奴が犯人

今日のひとこと（224）「自分を敬う」

自分を敬うことのできない人は他人を尊敬することもできない。

今日のひとこと（225）「部下」

初対面のビジネスの相手、最初にどこを見ますか？

「連れて来る部下」

（前ソニー社長　出井伸之）

今日のひとこと（226）「素人と玄人」

素人は物事を複雑に難しく考えてドタバタし、その域に達した名人や玄人は、本当は難しいことをサラリとやってのける。

今日のひとこと（227）「幸せ」

「幸せは創るものではなく、感じるものである」

幸福を感じる感性を錆び付かせたまま幸福を追いかけたのでは、いつまで経っても幸福を得ることはできない。

幸福とは幸福感を感じる感性があるかどうかである。

今日のひとこと（228）「経営」

「経営」とは本来仏教用語である。

「経営」の「経」は、布を織るときの縦糸の事を言う。

ここで言う縦糸とは、人の道で縦に筋を通すという意味であり、「極楽へ行くために、人としての筋道を通して行動すること」、その営みを「経営」と言う。

英語で、経営の事を「management」「administration」というが、「ものを取り扱う」や「支配する」という意味で、そこに日本の『経営』という言葉に隠された、「人として筋を通す」という概念はない。

これが「日本式経営」と「西洋式経営」の違いである。

日本人の思想に合っている本来の「経営」と言うものを再確認する必要がある。

今日のひとこと（229）「形と質」

「形を見るものは質を見ず」

形式にとらわれる人は本質を見失う、ということ。

（夏目漱石「虞美人草」より）

今日のひとこと（230）「男と女」

男は最初の男になりたがり、女は最後の女になりたがる。

男は愚痴るかわりに考える、女は考えるかわりに愚痴る。

男は勝って泣き、女は泣いて勝つ。

男は仕方なく生き、女は執念で生きている。

男は遠くを見る、女は深くを見る。

男の恋は「名前をつけて保存」、女の恋は「上書き保存」

^_^;

今日のひとこと（231）「自分と周囲」

20歳の時は、自分が周囲にどう見られているかが気になる。
40歳になると、自分が周囲にどう見られているか気にならなくなる。
60歳になると、周囲は自分のことなど見ていなかったことに気付く。

今日のひとこと（232）「根幹と枝葉」

リーダーは根幹を逞（たくま）しくする学習をしなければいけない。
根幹が貧弱なのに枝葉末節を茂らせたのではそのうち根幹が朽ち果ててしまう。
これは自然の理である。
逆に根幹が逞しければ自然と枝葉は生い茂る。

今日のひとこと（233）「再起」

戦って破れたものは再び立ち上がることができるが、戦わずして負けたものは二度と立ち

上がれない。

（チャーチル）

今日のひとこと（234）「人材育成」

やって見せ、言って聞かせて、させて見せ、ほめてやらねば人は動かじ

（山本五十六）

今日のひとこと（235）「自分を好きになれ」

自分を嫌いな人は不幸だ、四六時中嫌いな人と一緒にいることになる。

今日のひとこと（236）「臆病」

軍略家には臆病さがなければならぬ。

臆病さから智恵が生まれる、人なみに恐怖もせぬ者から智謀は湧き出ぬ。

（西郷隆盛）

（司馬遼太郎「峠」より）

今日のひとこと（237）「バカと賢者」

バカは自分よりバカを見つけると喜ぶ、何故ならバカにできるからである。
賢者は自分より賢者を見つけると喜ぶ、何故なら成長できるからである。

今日のひとこと（238）「人は分かりあえない」

みんな自分のことを分かってくれない」と悩むが、他人が皆あなたのことを「全て分かっている」というのも気持ち悪いものである。
あなたも他人のことをすべて分かるはずがない、それでいいのだ。

今日のひとこと（239）「愛嬌」

人の上に立つ人は愛嬌がなければならない。
人が近づきやすい表情でなければ人が集まらない、人が集まらなければ生きた知恵も集まらない。

（松下幸之助）

今日のひとこと（241）「命令」

命令は単純明快でなければならぬ。
命令に条件が多ければ多いほど、やらない、できない、失敗の言い訳が増える。

（「坂の上の雲」司馬遼太郎）

今日のひとこと（242）「事後の対応」

人間は誰でも過ちを犯す、問題はその後の対応、そこに人間性がでる。

今日のひとこと（243）「仕事を叱るか人を叱るのか」

仕事を叱るときは人前で叱れ、人を叱る場合は人目を避けて叱れ。
但し、人格を否定するまで切り込んで叱らない。

今日のひとこと（244）「プライド」

プライドにはメジャー（プラス）とマイナー（マイナス）がある。
「志・夢に殉じるプライド」と「不必要な自己顕示欲のプライド」である。

今日のひとこと（245）「五戒」

一. 辛いことが多いのは感謝を知らないから
二. 苦しいことが多いのは自分に甘えがあるから
三. 悲しいことが多いのは自分のことしか分からないから
四. 心配ごとが多いのは今を懸命に生きていないから
五. 行き詰まりが多いのは自分が裸になれないから

今日のひとこと（246）「疾風に勁草を知る」

「疾風（しっぷう）に勁草（けいそう）を知る」　（後漢書）

嵐や強い風が吹いたときに初めて強い草が見分けられるように、人も困難や厳しい逆境にあった時に意志の強さや人間の本性が見えてくる。

今日のひとこと（247）「夢に見る」

「夢に見るようじゃ惚れようが足らぬ　真に惚れれば眠られぬ」

仕事も、夢に出てくるようではまだまだ、真に困り悩めば眠れない。

今日ひとこと（248）「五省」

「至誠にもとるなかりしか」：真心に反する点は無かったか
「言行に恥ずるなかりしか」：言行不一致は無いか、実行・行動力はあったか
「気力に欠くるなかりしか」：精神力、情熱は充実していたか
「努力にうらみなかりしか」：努力を怠らなかったか、悔いが残らないか
「不精にわたるなかりしか」：最後まで充分に取り組んだか、手抜きは無いか

海軍兵学校　今日一日反省の言葉（東郷平八郎）

今日のひとこと（249）「切れないトレーニング」

1. 自分が悪いと考える習慣をつける
2. 後味の悪さを思い出す
3. 言葉力、コミュニケーション力をつける

今日のひとこと（250）「しなやかに、したたかに」

渡る娑婆にはちょっとしたコツがいる。
しなやかにとは、対応や考え方を臨機応変に柔軟な考えや発想を持つこと。
「曲ったことが嫌い」など自慢にはならない、ただ協調性のないわがままなだけである。
したたかにとは、打たれても踏まれても転んでも、どっこい負けてたまるかと生き抜く力。
不屈の精神、七転び八起きの精神である。
特に現代こそしなやかに、したたかに

今日のひとこと（251）「スキルとセンス」

スキルは勉強できるが、センスは磨くしかない。
講演や勉強でスキルはあげられるが、センスは磨けない。
センスは「本物を見る、肌で触れる、体で体験する」それらの集積である。

今日のひとこと（252）「技（わざ）」

技術より技を磨け、技術はアマチュアの世界、技はプロの世界である。

技術は言葉やマニュアルで表すテクニック、即ち形式知であり、技は技術に経験が積み重なれた暗黙知の世界である。

今日のひとこと（253）「生まれ変わる」

あなたは「生まれ変わっても自分になりたい」と思いますか？

そう思わなくてもまた同じ人生を繰り返す。

今日のひとこと（254）「甘えるな」

君は悩んでるんじゃない、甘えてるんだ。

（ドラえもん）

今日のひとこと（255）「喧嘩の一歩」

けんかの始まりは、「いや」「でも」「だって」「しかし」「なにっ」から始まる。
この言葉を使わなければ喧嘩にはならない。

今日のひとこと（256）「金持ち喧嘩せず？」

喧嘩しないから金持ちになる、が正しい。
喧嘩して得るものより失うものの方がはるかに多いからである。
利口な人は喧嘩をしない、損をするから。

今日のひとこと（257）「将たる心がけ」

理念高尚なるとも哲学者の如くあれ
純粋な心、武士道の如くあれ
戦略戦術においては細密緻密であれ
忍耐と根性においては民百姓の如くあれ（不詳）

今日のひとこと（258）「凡人と賢人」

凡人は自分の経験から学ぶ、賢人は歴史や先人から学ぶ
（経験が生かされない人は？凡人以下）

今日のひとこと（259）「強い会社5大条件」

1. 明確な目標を全員で達成している（強い信念）
2. 言ったことは必ずやる（断行、強いリーダーシップ）

3. 常に問題を先取りする（先見性）
4. 勘が鋭い（感性）
5. スピードがある（即断即決）

今日のひとこと（260）「丈夫な心を作る四つの方法」

1. 自分の想いが環境を作る
2. 周りと調和する
3. すべてをゼロイチで考えない
4. 頑張り過ぎない

とにかく困った時は笑ってみよう

（「勝間和代のインディペンデントな生き方」より）

今日のひとこと（261）「逆風」

逆風は神が与えた試練、神はその人に見合った苦労しか与えない。

今日のひとこと（262）「急ぎの仕事」

急ぎの仕事は忙しい人に頼め

今日のひとこと（263）「倒産」

倒産とは一般的用語で、法律上の用語ではない、一般的には「企業経営が行き詰まり、弁済しなければならない債務が弁済できなくなった状態」を指す。

定義として次に当てはまる状態を指す

（1）2回目不渡りを出し銀行取引停止処分を受ける

（2）内整理する（代表が倒産を認めた時）

（3）裁判所に会社更生法の適用を申請する

（4）裁判所に民事再生法の手続き開始を申請する
（5）裁判所に破産を申請する
（6）裁判所に特別清算の開始を申請する

今日のひとこと（264）「サラリーマン落書き」

なんとか　なる！
二度あることはもう無い！
人のふり見て　我がふり直すふり？
さからわず　いつも笑顔で　従わず！
今日やることは　明日にもできる！
俺がやらなきゃ　誰かやる！
送別会と告別式が人生の集大成　名刺の無い自分をいつも意識して生きる！

今日のひとこと（265）「性格と意識」

性格は才能を超え、意識は能力を超える。

良い性格や高い意識は才能や能力以上のものを発揮する。

今日のひとこと（266）「勝ち負け」

人生はすべからく勝ち負けである。

「勝ち負け」にこだわることが人生を面白くする、「勝ち負けだけ」にこだわることが人生をつまらなくする。

今日のひとこと（267）「騙す（だます）」

欲につけこんで騙すのが詐欺、弱みにつけこんで騙すのが新興宗教、詐欺と宗教の混合が霊感商法。

現代社会を生き延びるコツは、騙す知恵は持ち合わせているが騙さない。

騙す知恵も持ち合わせていないお人よしが騙される。

今日のひとこと（268）「支持率」

民主主義で選ばれた総理大臣や大統領も支持率は一般的に平均30％前後である。また不支持率も30％前後である。残りは浮動票で説得して50％以上になれば民主主義は成立する。即ち万人に支持されることはない。自分を支持してくれる人、自分の味方が三割、自分を嫌いな人、敵が三割であとの残りはどうでもいいどちらでもない人であり説得次第。コミュニケーション力、交渉力を身につけておけ。

今日のひとこと（269）「貯金」

今貯金がない人は、所得が増えても貯金はない。

今日のひとこと（270）「悩みは昼に解決」

悩みは夜に考えるな、どうしても悲観的発想になる。昼の明るいときの発想が楽観的、建設的、前向きになる。

今日のひとこと（271）「辛抱、忍耐、我慢」

頭のいい人やお金がある人が幸せになるのではない。

人生は一に辛抱二に忍耐、三四がなくて五に我慢

今日のひとこと（272）「生き甲斐」

歳をとると、「輝き組」と「しょぼくれ組」の両極端に分かれる。

その分岐点は何か、見かけではない。

生き甲斐を持っているか、夢を見つめ、夢を語り、夢に挑戦しているかである。

今日のひとこと（273）「無常」

座して半畳、寝て一畳、天下とっても二合半　（織田信長が好んだ謡曲「敦盛」の一節）

人の座る広さは畳半分、寝ても畳一枚

成功をおさめ、天下取ってもせいぜい飯は一日二合半もあればよい。

人生50年、人の世は夢や幻と同じではかなく短いものだ。

この世に生れて滅びないものはない。

今日のひとこと（274）「成功と失敗の確率」

成功の確率を倍にするためには、失敗の確立を倍にせよ　（トム・ワトソン）

今日のひとこと（275）「もう遅い、まだ早い」

一流の人にない言葉、それは「もう遅い」と「まだ早い」

今日のひとこと（276）「無知」

最大の無知とは自分の無知に気づいていない人のことをいう。

今日のひとこと（277）「幸せ」

いつか幸せになりたいと思っている人は、永久に幸せにはなれない。

今日のひとこと（278）「体力」

常に知識を得、徳を磨き、体力を付けておけ。
特に体力を、人生最後は体力の勝負である。

今日のひとこと（279）「耳の痛い話とありがたい話」

忠告は、聞く気がなければ耳の痛い話となり、聞く耳を持って聞けばありがたい話となる。
同じことを聞いても聞く態度により大きく変わりその差は大きい。

今日のひとこと（280）「幸せと感謝」

人は幸せだから感謝するのではない、感謝するから幸せになるのである。

今日のひとこと（281）「教えを聞く」

教えを聞くことの少ない人は
牛のように老いる
かれの肉は増大するが
かれの智慧は
増えることがない

（法句経）

今日のひとこと（282）「苦しみから逃げるな」

苦しみは逃げるから追いかけてくる、立ち向かえば逃げていく。

（元関取：竜虎）

今日のひとこと（283）「成功の秘訣」

誰にでもできることを、誰にもできないくらいやる。

今日のひとこと（284）「ただ」

本当に大切なものはみなただ。

ある牧師さんの詩で詳しい詩の内容は知りませんが、

太陽の光、大地の恵み、雨水、空気、感謝の言葉、挨拶、母の愛すべて「ただ」

今日のひとこと（285）「ウサギとカメ」

ウサギはカメを見ながら走った、カメはゴールを見ながら走った。

今日のひとこと（286）「やるしかない」

新しいことに挑戦するとき、「出来るか出来ないかを延々と論じることなど無意味だ」また、「できたらいいな」で取り組むのと、「やるしかない！」の気持は天と地ほどの成果格差を生む。

今日のひとこと（287）「空中戦」

これからの営業は空中戦が勝利をもたらす、従来の地上戦だけでは営業は通用しない。空中戦とは情報、ＩＴ、Ｗｅｂ、インターネット、メディアなどを駆使した企業が生き残る。

今日のひとこと（288）「人生観」

日本人の倫理観、労働観、宗教観全てが貧乏を基本に成り立っている。

豊かになった時の人生観を見直せ

今日のひとこと（289）「兵の将たる器、将の将たる器」

（中国の故事）

「兵の将たる器、将の将たる器」

リーダーの統率力、力量を表した言葉

数多くの兵（社員）をまとめることができるリーダー（管理職）と、多くの兵（社員）を統率することはできないが、そのリーダー（管理職）を統率することができるリーダーがいる、それぞれ器の大きさは違うがそれは持って生まれた才能である。

なかには、兵（社員）から脱しきれない幹部（管理職）もいる。

今日のひとこと（290）「話し合い」

話し合いは座って話したほうが落ち着く、人は興奮すると立ち上がる。

今日のひとこと（291）「縁」

小才は縁に出会って縁に気づかず
中才は縁に気づいて縁を生かさず
大才は袖ふれあう縁をも生かす

（柳生家の家訓）

今日のひとこと（292）「叱り方」

叱るべき時には、「あれこれ考えず直情型で相手が気絶するくらい叱る」松下幸之助流と、「笑顔で叱る」叱り方がある。
時と場合、相手により使い分ける。

今日のひとこと（293）「成功と習慣」

人の成功は知識の多さや努力の積み重ねではない。
何が成功に導くか、それは習慣である。
人間は習慣の奴隷であり、自らよい習慣を作りそれに従うことにより、頭ではなく体に身に付き潜在意識が変化をもたらす。

（オグ・マンディーノ「地上最強の商人」より）

今日のひとこと（294）「本音と建前」

人は、言っていることが建前で、やっていることが本音、また企業も掲げている理念は建前で、やっていることが本音である。
言葉でどんなに立派なことを言っても行動が伴わなければ説得力がない。
「誠実」とは建て前と本音が同じということである。

今日のひとこと（295）「成熟」

人は成熟するにつけて若くなる。
歳をとることと老けることは違う。

（ヘルマン・ヘッセ）

今日のひとこと（296）「如何に生きるか」

どれだけ生きるかではなく、如何に生きるかを問え

今日のひとこと（297）「品格」

品格は教わるものではない、備わるものである。

今日のひとこと（298）「リーダーに求められる資質」

直観力・説得力・責任力

直観力は、読んで読んで読み抜き、詰めて詰めて詰め抜き、考えて考えて考え抜いた果てに湧き上がってくる勘であり資質である。

説得力とは、論理的に説き伏せることではない、相手が納得するような心理状況を作り出すことである。

いうまでもなく責任力は信頼関係の基本である。

今日のひとこと（299）「死にかた」

昔は死に方を教えてくれたが、今は生き方ばかり教え死に方に迷っている。

今日のひとこと（300）「処世術」

恐れすぎない
悩みすぎない
オタオタしない
へこたれない

今日のひとこと（301）「人生に必要なもの」

人生を恐れてはいけない、人生に必要なものは愛と勇気と少々のお金である。

（チャップリン、映画「ライムライト」より）

今日のひとこと（302）「人生の道」

若者叱るな来た道だ、年寄り笑うな行く道だ。

今日のひとこと（303）「常在戦場」

常在戦場・・・旧長岡藩　藩是

常に有事に備え臨戦態勢を整えておけ

一日一日を緊張して過ごすことを説いた言葉

今日のひとこと（304）「リスク」

失敗のリスクを恐れるより、リスクを恐れて何もしないことを恐れよ

今日のひとこと（305）「悲嘆の心に蓋をするな」

悲しい時、辛い時、むなしい時はじっと心に閉じ込めて我慢をしないこと。

面に表し吐き出す、それは決して弱いことや恥ずかしいことではない。

今日のひとこと（306）「努力」

人生が努力だけで報われることはない。
しかし努力をしなければ今以下になることは確実である。

今日のひとこと（307）「リスク　その2」

リスクには、その先に同じ確率の成功が期待できるものと、その先にマイナス要因だけのリスクがある。
取り返しのつかない失敗をしないために、危険予知能力を高めておけ。

今日のひとこと（308）「理想の上司」

理想の上司は優しいだけではだめで、「仕事の汗、真剣な眼差し、深く考えた発言、キビキビした動き、思い切った決断、キラキラと輝く仕事ぶり、そこまでやるかという打ち込み」に部下は感動しついていく。
「仕事の鬼」という言葉は今も健在である。

今日のひとこと（309）「頑張ります」

「頑張ります」という言葉は、その先に「頑張ったけど・・・」という言い訳の予防線である。「頑張ります」ではない、「やります」

今日のひとこと（310）「組織三つのF」

フラットな組織　フランクな社風　フレキシブルな対応

今日のひとこと（311）「養生」

養生には、1．心の養生、2．食の養生、3．生活の養生がある。

1．心の養生；心の置きどころを見極める、上手にストレスと付き合う

2．食の養生；医食同源、腹八分、腹で食うな頭で食え

3．生活の養生；健全な肉体と健全な精神は健全な社会生活の上に成り立つ

今日のひとこと（312）「リーダー」

リーダーはしつこく何度も同じことを繰り返し伝え、社員の耳にタコを作れ。
同じことを繰り返し語ることに信念を持たねばならない。

今日のひとこと（313）「人間力経営」

人間力経営の構成要素は

1. コミュニケーション能力
2. 問題解決能力
3. 協働力

今日のひとこと（314）「成功と成長」

人生において「成功」は約束されていない、しかし「成長」は約束されている。

もし、我々が人生で与えられている苦労や困難、失敗や敗北、挫折や喪失を「成長の糧」とする覚悟があるならば、人生において「成長」は約束されている。

「未来を拓く君たちへ」

今日のひとこと（315）「リーダーの心構え（論語）」

「よく五つのものを天下に行うを仁となす」　孔子　論語より

人の上に立つものは五つの徳、「恭」「寛」「信」「敏」「恵」を身に着けなければならない。

・恭なれば悔いられず・・・礼儀正しければ人々に敬われる。
・寛なれば衆を得る・・・寛大であれば人望が得られる。
・信なれば人任ず・・・誠実であれば人から頼りにされる。
・敏なれば功あり・・・機敏であれば仕事がうまくいく。

・恵あればもって人を使うに足る・・・思いやりがあれば人々は喜んでその命令に従う。

これらの徳は経験によって会得するものであり、経験には自らが肌身で感じ体験する直接的経験と、人の体験を聞くことによりあたかも自分が経験したような疑似体験をする間接的経験がある。

この意味でもリーダーは自分の経験や考え方を次世代の人に伝えることが大事であり、また自分自身を磨くことにもなる。

今日のひとこと（316）「好評と悪評」

人間というものは一方から好かれれば、一方から憎まれる、好評と悪評は必ず付いてまわるものだ、あらゆる人間に好かれ、少しも悪評がないというのは、そいつが奸譎で狡猾だという証拠だ。

（「樅ノ木は残った」山本周五郎　より）

＊奸譎（かんけつ、かんきつ）・・・邪で偽りに満ちていること

狡猾（こうかつ）・・・ずるくて悪賢いようす

今日のひとこと（317）「小さな油断」

大きな不幸は小さな油断の積み重ね

今日のひとこと（318）「無題」

雨は天から涙は目から、腹が立つのは足らんから。

今日のひとこと（319）「教育、才能の伸ばし方」

逆境やハングリーな環境で育った人は厳しいスパルタ式教育が伸び、現代のような豊かな恵まれた環境で育った人の教育は誉めると伸びる。

今日のひとこと（320）「未熟」

最初から成熟している人はいない、人は成長とともに成熟していく。
未熟とは、自分の未熟に気付いていない人のことであり成長意識がないからである。

今日のひとこと（321）「全体最適と未来最適」

考え方には、一見もっともらしい「部分最適」や「現在最適」の正論がある。
リーダーは、常にそれが「全体最適」か「未来最適」かを考慮しなければならない。

今日のひとこと（322）「韓信の股くぐり」

「韓信の股くぐり」（中国のことわざ）
漢時代の武将、若い時に街で言いがかりをつけられたが、恥を忍んで相手の股をくぐって耐え忍んだ。
「恥は一時、志は一生」、取るに足らないつまらないことに惑わされず、志を持て

今日のひとこと（323）「憶えておくこと」

分かってもらうことと、覚えておいてもらうことは違う。
憶えておいてもらいたいことを、今無理に分からせようとすると言い争いになる。
ことわざや教え、教訓、親父の説教等はあとで何かの時に人生の肥しとなる。
そのためにも「心の引き出し」に整理してしまっておく。
心の引き出しの大きさ、整理の仕方がその人の度量となり人生を左右する。

今日のひとこと（324）「重荷」

重荷から逃げたツケは必ずやってくる。
人生の苦難に立ち向かう勇気を持て、苦難は逃げれば逃げるほど追いかけてくる。

今日のひとこと（325）「足るを知る」

足ること知れば悩み少なし、足ること知らざれば悩み多し。

持ち得ているものに感謝すれば悩まなくて済み、無いものねだりをすればするほど悩みは増える。

今日のひとこと（326）「夢は寝て見ろ」

夢を抱くことはいいが、夢みたいなことばかり言い続けると相手にされない。
夢は現実の上に、限られた可能性とたゆまぬ努力により達成される。
現状も考えず、努力もしないで夢ばかり語る人に対する戒めの言葉。
努力もせず、達成確率のない夢は寝て見ろ。

今日のひとこと（327）「疑人不用、用人不疑」

疑う人物を使わない、使う人物を疑わない。
人物を使う以上は、「知りながらもこのくらいは」という心の広さ、寛容さで接する。
リーダーには、トータルでプラスかマイナスか、寛容と放任の絶妙な見極めが求められる。

今日のひとこと（328）「運」

「自分には運があったと思います、それはいろんなことを勉強し努力したことに対し、神様が与えてくれたものだと思います。」

（H22年、秋場所優勝白鵬のスピーチより）

今日のひとこと（329）「天下の大事、我が家の小事」

男というものは、それぞれの身分と暮らしに応じて、日々を滞りなく享受できればそれでよい。如何にあがいてみても人は・・・つまるところ男の一生は、それ以上のものではない。まこと大切なるは天下の大事ではのうて、我が家の小事なのじゃ。

（さむらい劇場「池波正太郎」）

今日のひとこと（330）「人に聞く」

自分だけで考えるのには限度がある、ではどうすればいいか？

答えは簡単、「分かっている人に聞く」

今日のひとこと（331）「命がけの決断」

山本権兵衛（海軍大臣）・・・戦艦が是非必要だが予算がありません。

西郷従道（内務大臣）・・・山本さん、本当に必要なら買わなければいけません。予算は他を流用すれば何とかなります。議会で追及されたら、二人して二重橋前で腹を切りましょう、二人が死んで戦艦が残れば本望ではないですか。

この船が日本の主力戦艦「三笠」であり、のち日露戦争日本海海戦で日本を勝利に導いた。まさに命がけの決断である。

現代感覚ではまさに背任罪、不正経理、越権行為等など無茶苦茶な発想であることは言うまでもない。

今日のひとこと（332）「洞察力」

現代はマニュアル社会で人間力が低下している、マニュアル人間は変化対応や臨機応変ができない、マニュアルに頼らず洞察力を磨け。

洞察・・・優れた観察力で物事の奥底まで見抜く力

今日のひとこと（333）「まだ」

心ひとつで運気は変わる、「もう」と嘆くな「まだ」と踏ん張れ　！

今日のひとこと（334）「冷静沈着泰然自若」

冷静沈着泰然自若（れいせいちんちゃく、たいぜんじじゃく）と言うが、これはその気になってまたは努力してできるものではない。

不安や恐怖の中で失敗を繰り返し、暗中模索、五里霧中、七転八倒を繰り返しながら乗り越えていくうちに、経験則として身に備わる慣れのようなものである。

今日のひとこと（335）「威厳」

相手に威厳を示すには、最初に厳しく後で柔和に接する、逆の場合は反発を買うだけ。そういえば猿回しが芸を教え込む時には、最初に猿を押さえつけ、おもいきり猿にかみつくという。そしてあとで徐々に褒めてやる。

今日のひとこと（336）「聞く」

聞くは純心、聞かぬは邪心

人に聞く、教えを問うということは恥ずかしいことでも無知をさらけ出すことでもない。聞く人の心は純心で、聞かない人の心は邪（よこしま）である。

今日のひとこと（337）「啐啄同機」（さいたくどうき）

その意味は、卵が孵化する時には、卵の中のひなが殻を自分のくちばしで破ろうとし、また親鳥も外からその殻を破ろうとする。そのタイミングがピタッと一致するからこそひな鳥はこの世に生を受けることができる。お互いのタイミングが早すぎても遅すぎてもいけない。その絶妙な自然の摂理を「啐啄同機」という。

指導も、教える者と教えられる者との息がピタッと合わなければ効果が出ない。

学習する気持ちのない者に教育をしても無意味である。

今日のひとこと（338）「1分」

人は他人のことを続けて1分も考えていない。

（ある宗教家の話）

他人のことを1分でも2分でも真剣に考える習慣をつけることが、周りをひいては自分が幸せになれる一番の近道であり、いちばん身近な他人は夫婦である。

今日のひとこと（339）「小理屈と屁理屈」

理屈に大小や屁があるわけでもないが、教養のない人は本質からずれた小理屈を並べたて、あたかも正論のごとくあらさがしをして得意がる。

ちなみに、屁理屈とは筋の通らない理屈、道理に合わない理屈。

民主主義は言論の自由が保障されている、何を言ってもいい。

ただ、小理屈と屁理屈がまかり通る社会は品格を失う。

教養を備えた大人の社会を目指すべきと思う。

今日のひとこと（340）「猿と人間」

人類の祖先は猿か？

猿は所詮猿である、猿は一００年経とうが一０００年経とうが人間にはならない。

成らぬものは成らぬ、ダメ人間は一００年磨いても光らない。

今日のひとこと（341）「失って分かる幸せ」

健康な人が健康だから幸せと感じるか？
人は健康な時は何も感じない、体を害して初めて健康が幸せということを感じる。
今自分の置かれている環境、有るものを見直し感謝の気持ちを持ちましょう。
幸せとは心の置きどころ次第である。

今日のひとこと（342）「苦行」

人生は苦難の連続、その苦難は天が与えた修業である。
逃げずに苦難を乗り越えていく修業を苦行と言い、苦行を積むことにより人間として成長し悟りの境地に近づく。
滝打ちの行や、火渡りの行だけが苦行ではない、人生に真摯に立ち向かうことそのものが苦行である。

今日のひとこと（343）「自信と謙虚」

自信を持てと励まされ、過ぎれば自惚れ（うぬぼれ）るなと諭（さと）される。
謙虚になれと諭され、過ぎれば卑屈と諌（いさ）められる。
自信と謙虚の間、ほどほどは難しい。

今日のひとこと（344）「女はここが怖い」

「女はここが怖い」（女性の方は見ないでください）
忘れない、許さない、流されない、振り返らない

今日のひとこと（345）「頑固」

歳をとってくると、経験のなかから思考範囲が狭まり価値観が固まってくる、これが若い人からみると「頑固」と思える事である。

今日のひとこと（346）「兵貴神速」

「兵貴神速」（へいきしんそく）「三国志より」

戦いにおいては、熟慮を重ね決断が遅れるより多少の犠牲を払ってでも神のような速さで行動を起こすほうが功を奏す、即断即決。

スピードが勝敗を決す。

今日のひとこと（347）「日本の民主主義」

日本の民主主義の原点は、

「一に曰く、和を以て貴しと為し、逆らうこと無きを旨とせよ」（聖徳太子・「十七条憲法」）

和を重んじ、競争や争うことなく、根回しや談合により全会一致が望ましい

「広く会議を興し、万機公論に徹すべし」（明治天皇・「五カ条の御誓文」）

多くの人と話し合い（議会制民主主義）、全ては世論に従え

今日のひとこと（348）「危機感」

危機感は明日への原動力となり、危機感が向上心を生む

今日のひとこと（349）「一歩踏み出せ」

富士山を見たければ、戸をあけて一歩外へ踏み出すことである。
富士山が向こうからやってくることは絶対ない。
一歩踏み出せ、行動しなければ道は開けない。

今日のひとこと（350）「人間とは」

人間とは何だろう。と、家康はその道に得手な男ながら、考えたに違いない。家康が考えている人間の課題は、人間と云うのは人間関係で成立している、と云う事であった。

人間関係を人間から取り除けば単に内臓と骨格を持った生理的存在であるにすぎないということを、この人質上がりの苦労人はよく知っていた。

武田信玄はその人間関係を巧みに、大規模に組み上げ、子の勝頼はそれを手もなく失ってしまった。

（「覇王の家」司馬遼太郎より）

今日のひとこと（351）「ことだま」

言霊（または言魂とも書く）

古来日本では、声に出した言葉が現実の事象に対して何らかの影響を与えると信じられ、よい言葉を発すると良いことが起こり、不吉な言葉を発すると凶事が起こると信じられた。

言（こと）＝言葉と、事（こと）＝事象は元来同一の概念であった。

事象の珠をつないだものが数珠、結婚式での禁句「忌み言葉」など現代にも慣習として残っている。

日本人は、「ことば」に宿る魂と、人間関係や人生を結びつける特異な文化を発達させた。

今日のひとこと（352）「志士」

革命を起こすような志士は

1．詩人でなくてはならぬ

2．無頼漢でなくてはならぬ

3．至誠人でなくてはならぬ

革新的な行動を起こす人は「詩人」即ちロマンティストであり、「無頼」即ち既成概念にとらわれない型破りであり、「至誠」即ち誠実の極みを持ち合わせなければならない、歴史を動かした人物に共通する条件である。

（山岡荘八「高杉晋作」より）

現代経営においても然り、企業革新や業態変革は唱えるだけでは成就しない、志士でなければ成せぬ。

今日のひとこと（353）「証明」

社会生活における証明には歴史的証明と科学的証明があり、歴史的証明が優先される。

要するに、過去の結果はどうだったかということである。

科学的証明は時代により、証明の仕方により変わるからである。

今日のひとこと（354）「危機のリーダー」

「危機のリーダーに必要な6つの資質」

（ラム・チャキン「徹底のリーダーシップ」より）

1. 誠実であり、信頼できる存在である
2. 社員、部下を鼓舞し、勇気づける存在である
3. 現場と「生の情報」でつながっている
4. 楽観的な現実主義者である
5. 細部にまで徹底的に踏み込んでいく

6. 未来に打って出る勇気がある

今日のひとこと（355）「おかげさま」

夏がくると冬がいいと思う
冬になると夏がいいと思う
太るとやせたいと思う
やせた人は太りたいと思う
ひまになると忙しいほうがいいという
自分に都合のいい人はよい人だとほめ
自分に都合が悪くなると悪人だとけなす
借りた傘も雨が上がれば邪魔になる
金を持てば古びた女房が邪魔になる
衣食住は昔に比べれば天国だが
上を見て不平不満の明け暮れ
隣を見ては愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのか
静かに考えて見るがよい、一体自分は何なのか
親のおかげ、先生のおかげ
世間様のおかげのかたまりが自分ではないか
つまらぬ自我妄執を捨てて、得手勝手を慎んだら
俺が俺がを捨てて
おかげさまで、おかげさまで暮らしたい

（あるコンビニのトイレの張り紙より）

今日のひとこと（356）「決意の具現化」

経営者・リーダーが決意を具現化するには

1. 強い決意を持つ・・・熱い思いを抱く
2. 決意を戦略化する・・・イメージを形に描く
3. 社員（部下）にどう理解してもらえるか・・・形を伝える（コミュニケーション）

今日のひとこと（357）「大人」

人間は、青いうちほど自分は大人だと思いたがる。歳とってくると今度は若いと思いたがる。

（山岡荘八「高杉晋作」より）

大人を振りかざすうちはまだまだ

今日のひとこと（358）「会議や書類」

会議や書類は、仕事の達成感という思い込みと錯覚を伴い、無能な人間や成熟した企業ほど多くなる。

今日のひとこと（359）「人は変わる」

人間の価値観や人生観は、生活環境や職業等により徐々に変わる。

親子、兄弟、幼馴染、学生時代の親友も時と共に考え方価値観に違いが出てくるのは当然のことであり、無理にすり合わせしようとすると摩擦が生じる。

価値観の違う人とまともに議論をしてはいけない。

今日のひとこと（360）「五分の勝利」

「戦いに勝つということは、五分を上とし、七分を中とし、十分を下とする」（武田信玄）

五分五分でやっと勝ったくらいの勝利であれば、今後に対して励みの気持ちになる。七分の勝利だと怠（おこた）りの心が生じ、十分の勝利即ち相手を完全に叩きのめすと、敵を侮（あなど）り、驕（おご）りの心が生じるからである。

武田信玄は、ほどほどの勝利を旨とし相手の尊厳までを打ち砕くことはしなかった。

人生やビジネスにおいても参考にしたいものである。

今日のひとこと（361）「心の傷」

心が傷つき病んだ時、癒（いや）してくれる薬はありません、時間はかかるけど時が薬です。

今日のひとこと（362）「思い込みと錯覚」

人間は「思い込み」と「錯覚」のなかで生きている。

今日のひとこと（363）「正しいか間違いか」

相手の心が乱れれば悪なり、和めば善なり

どんなに正しいと信じて言ったことやったことでも、相手との関係が壊れれば間違いである。世の中は正しいか間違いかで判断できるほど単純ではない。

今日のひとこと（364）「ネアカ」

人生の崖っぷちから這い上がるのは心の筋肉である、心の筋肉はまずネアカ。

ネアカとは、笑いでもなく、無神経でもなく、冗談を飛ばすことでもない。

緻密な計算に裏付けられた楽観的発想である。

今日のひとこと（365）「徳」

リーダーに必要なものは、才より徳である。

人は正しいか間違いかで動くのではない、どんなに正論を説いても、その人に人徳がなければ人は動かない。

（稲盛和夫）

今日のひとこと（366）「泣く」

文句が言えるのは恵まれているから、泣けるうちはまだいい

今日のひとこと（367）「今が一番」

「昔は良かった」「若いときは良かった」が口癖の人は昔も若いときもそう言っていた。将来もまた言うだろう、今が一番。

今日のひとこと（368）「勝負に強い人弱い人」

（マージャンで弱い人の特長）

1. 場を見ずに自分の手だけを見る
2. どんな手でも上がろうとする
3. すぐ焦る
4. 愚痴る、負けた言い訳をする

（逆に強い人の特長）

1．場をよく見る
2．勝負する手と下りる手のバランスがいい
3．じっくり待てる
4．敗因を調べ学習する

これはマージャンだけでなくあらゆる分野に共通することである。

（「運とツキの法則」林野宏より）

今日のひとこと（369）「夫が落ち込む言葉」

お金の不満
子どもを引き合いに出す
よそのご主人と比較する
夫の家族の批判

今日のひとこと（370）「風」

「風」は鳳凰（古代中国の想像上の大鳥、鳳と凰で一対）が語源である。
鳳凰が飛んできて地域に根ざしたものを風土、人や建物に降りた時風格と言う。
風流、風景、風俗、風紀、風刺、風情、校風、気風、社風等がある。
風を呼べ。

今日のひとこと（371）「10倍働く」

若いころ、私は10回に9回失敗していることに気がついた、だから10倍働いた。

（バーナード・ショー）

人生は失敗の連続である。あきらめずに道を変え、やり方を変えながら信念を貫くことが人生を切り開くカギとなる。

今日のひとこと（372）「期待と裏切り」

裏切られるのがいやならば期待はしないほうが賢明だ、だから裏切りの大きさは期待の熱意に正比例する。

（哲学者・串田孫一）

今日のひとこと（372）「成功している人の12項目」

（1）一般的な常識のある普通の人
（2）コミュニケーション能力に長（た）けている人
（3）完璧ではなく適度にスキがあり、妙なところで周りに突っ込まれる人
（4）夢がある人
（5）欲しいものに対する執着心が強い人
（6）ノートを書く人
（7）全てを「自分のせい」に出来る独立心のある人
（8）報告・連絡・相談をマメにできる人
（9）行動が早く、とりあえず動ける人
（10）自分を信じることができ、自分のやっていることに自信がある人
（11）常に新鮮な気持ちでいれる人
（12）自分より素晴らし人と仕事をしている人

今日のひとこと（373）「男性ホルモン」

男も女も、元気の源は男性ホルモン（テストステロン）の分泌を活発にすること、そのためには、

1. 赤を着る
2. 出会いを探す
3. 仲間と対戦する
4. 大声で笑う
5. ぐっすり眠る

今日のひとこと（374）「リーダー」

リーダーは尊敬されなければならないが、必ずしも好かれるとは限らない。

今日のひとこと（375）「人の世は勘違いで成り立っている」

人の世というものは、それぞれの人の勘違いによって成り立っているものじゃ。

親と子の間柄でも、肉親同士でも、人と人が真に理解しあうことは不可能であり、まして他人同士があれこれと思いをめぐらしてみたところでそれがピタリと敵中することはほとんどないといってよい。

わしはそれが分かった時、すっかり楽になった。

（池波正太郎「旅路」より）

今日のひとこと（376）「採用の基準」

最終的には自分が好きになれそうな人、好き嫌いで選ぶ。

（木村吉本興業元専務）

松下幸之助は「運の強そうな人、愛嬌のある人、好きになれそうな人」を採用の基準にした。

今日のひとこと（377）「Ｗｅｔ Ｂｌａｎｋｅｔ」

「Ｗｅｔ Ｂｌａｎｋｅｔ」（濡れた毛布）・・・出火した時、火を消す為の濡れた毛布のこと、ケチをつける、興ざめさせる、白けさせる、という意味。

日本のことわざには「水を差す」と言うのがある、これも「うまく盛り上がっているのに横やりを入れて台無しにする」という意味。

そういえばいますよね！

今日のひとこと（378）「お金」

お金は埋めるものではなく生み出すものである。

お金はマイナスを穴埋めしてゼロにするのではない、プラスを生み出す為に使え。

穴埋めのお金が「サラ金」、成長の為のお金が「投資」

今日のひとこと（379）「揚げ足を取る」

相手の些細な失敗や言葉じりに付け込んで、相手を責め立てること。元々は相撲や柔道で、相手の揚げた足を取る足技のこと。

話の本質部分に注目するのではなく、短所・欠点にだけ目を付け得意げになる。

揚げ足は一見正論の為注目を浴びる。

現代の政治家やマスコミなど、また周りを見回してもこのような風潮が蔓延していることは嘆かわしい。

今日のひとこと（380）「歳相応の生き方」

20代は美しく、30代は強く、40代は賢く、50代は優しく、60代はほどほどに、70代は童心に帰る

今日のひとこと（381）「一人じゃ生きられない」

人間は産まれてくる時も人の手を借り、死ぬ時も死んでからも人さまのお世話になる。

今日のひとこと（382）「一日1ミリ」

人生1日1ミリ
大きな成功や失敗は、毎日の小さな積み重ねや狂いの結果である。
今の原因は10年前にある。

今日のひとこと（383）「苦労や貧乏」

苦労や貧乏が笑い話になるようになりなさい。（桂歌丸）

今日のひとこと（384）「分析力」

「敵を知り、己を知らば百戦危うからず　（孫子）」

相手のこと、市場のこと、また世の中の流れなどを知り、そして自分自身を客観的に判断する目を持ち合わせていれば失敗することはない。

今日のひとこと（385）「トップダウンとボトムアップ」

強い会社はトップダウンもボトムアップも強い、組織にトップダウンは必要である。

要はバランスである。

今日のひとこと（386）「航海」

風は皆に同じく吹いている、自分だけに逆風が吹いているのではない。

同じ風向きの航海でもある船は東に、またある船は西に行く、要は帆の張り方である。

今日のひとこと（387）「裾野」

東京タワー型と富士山型の人間、その違いは裾野の広さである。
山の高さは裾野の広さで決まる。
間口も広いほうが良い、深く掘り下げようとすれば間口が広くなければ深くは掘れない。

今日のひとこと（388）「ケチ、無知、愚図」

ケチ、無知、愚図は成功しない

今日のひとこと（389）「相手の言い分や気持ちのつかみ方」

1. 言い合いをするな、売り言葉に買い言葉に発展
2. 重要だと思っている事を話す気にさせよ
3. 話を遮るな
4. 早合点するな
5. 話を独り占めするな
6. 良い聞き手になれ
7. 説教をするな、説教口調は逆効果である

・・・反省

今日のひとこと（390）「スランプ」

スランプに陥るというが、スランプとは進歩、発展、成長過程での足踏み現象のことをいう、したがって無能者のそれはスランプとは言わない、単なる下手なだけである。

今日のひとこと（391）「人の道」

忘れてならぬものは恩義
捨ててならぬものは義理
人に与えるものは人情
繰り返してならぬものは過失
通してならぬものは我意
笑ってならぬものは人の失敗
聞いてならぬものは人の秘密
お金で買えぬものは信用

今日のひとこと（392）「カタツムリ」

カタツムリの時速は約3.6ｍ／ｈだといわれる。
1日8時間、一月26日間エベレストにチャレンジすると1年で約８，９００ｍ。
ななんと1年でエベレストの高さに達することになる。
またカタツムリは前進あるのみ、（Uターンはするが）バックしない。
一日一日の小さな一歩がいずれ大きな差を生みます。
カタツムリを見習い、今年も1ミリ、一歩でも成長するように頑張りましょう。

今日のひとこと（393）「神社と教会」

日本の神社はお願い（祈願）するところ、西洋の教会は自己を反省し懺悔（ざんげ）するところ。
日本の神様は責任重大で大変です。

今日のひとこと（394）「危機」

危機（Ｃｒｉｓｉｓ）＝危険（Ｒｉｓｋ）＋機会（Ｃｈａｎｃｅ）

危機とは危険で危ないということと、機会との表裏一体である。

危機の時こそリスクを恐れず、やるべきことやってはいけないことを見極めチャンスを見逃すな。

危機の時、苦しい時に差がつき平和な時に格差は生まれない。

今日のひとこと（395）「ＳｔａｙｈｕｎｇｒｙＳｔａｙｆｏｏｌｉｓｈ」

「ＳｔａｙｈｕｎｇｒｙＳｔａｙｆｏｏｌｉｓｈ」　（スティーブ・ジョブス）

諸説いろいろありますがあくまで私流の解釈です。

満たされた状態から成長はあり得ない、常におなかも頭も飢えた状態を保ち貪欲であれ

今日のひとこと（396）「渋々でもやる、嫌でも続ける」

すすんでやるのが人の上、まねしてやるのが人の中、いわれてやるのが人の下、いわれてせぬのが人の屑、（前出）というのがあるが、

いわれてもいいから、渋々でもいいからやれ、嫌でもいいから続けろ、嫌になるほどやったのか？

そのうち一皮むけて開眼する。

次世代経営者・管理者に贈る

今日のひとこと集 2

（人生編・経営編）

●●●●年●●月●●日　印刷・発行

発行　㈱アクセス　安武　史朗

印刷　㈱　ア　ク　セ　ス

熊本市中央区大江四丁目一六番一号

電話　〇九六（三七二）一〇一〇